

令和 6 年度決算

下水道事業会計 事業レポート



松伏町まちづくり整備課

目 次

〇はじめに	1
1 決算書について	2
2 官公庁会計と公営企業会計の決算書の違いについて	2
3 収入・支出に関する事項	3
(1) 収益的収支（税抜き）	3
(2) 資本的収支（税込み）	4
(3) 公共下水道使用料について	5
(4) 公共下水道年間有収水量について	5
(5) 一般会計繰入金	6
4 「減価償却費」と「長期前受金戻入」って？	7
5 「補てん財源」について	9
6 下水道事業の経営成績は？	11
7 利益はどう使われているの？	12
8 借金はどれくらいあるの？	13
9 業務量について	13
10 施設の状況	14
11 下水道事業の財産は？	15
12 キャッシュフロー計算書とは？	16
13 下水道事業経営指標（参考）	17

○はじめに

松伏町の下水道事業は、使用者のみなさまが納めている下水道使用料で、安定したサービスを継続的に提供するため、令和2年度から公営企業会計を導入し運営しています。

地方公営企業の経理では、民間企業のように複式簿記を使った「企業会計方式」を採用することが義務付けられており、現金の増減のみを記帳する一般会計とは異なり、1つの取引によって発生した価値の増加に伴う他の価値の減少の両面を記帳する経理方式をとっています。

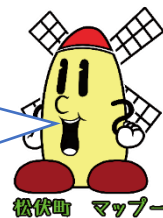
決算では、1年間の経営成績を表す「損益計算書」や年度末の財政状態を表す「貸借対照表」などの企業会計特有の書類があります。ただ、この書類は初めて見る人には少し難しい内容です。

そのため、使用者のみなさんに決算書に書かれていることをわかりやすくお伝えし、松伏町の下水道事業がどのような状況なのか少しでも知っていただけるよう本レポートを作成しました。

1 決算書について

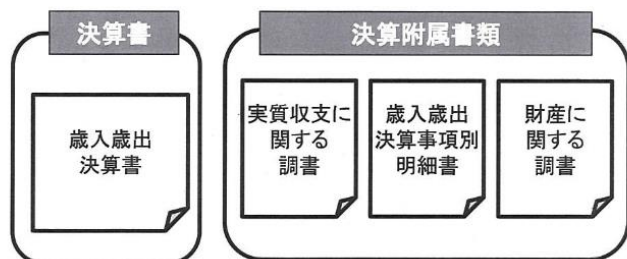
決算書とは、4月1日から翌年の3月31日までの1年間の経営成績と財政状況について、みなさんに報告するものです。

決算書は、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書などの決算書類で報告しています。

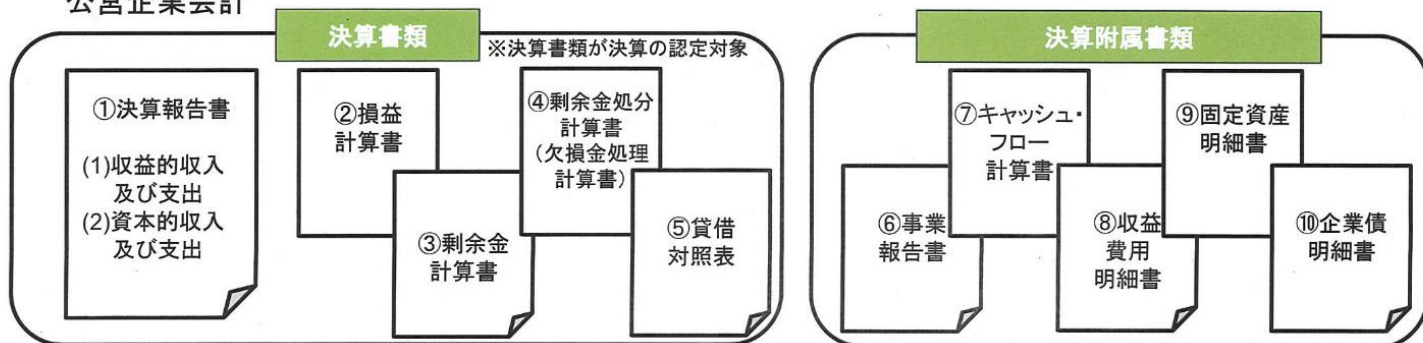


2 官庁会計と公営企業会計の決算書の違いについて

官庁会計



公営企業会計



○令和6年度の決算はどうだったの？

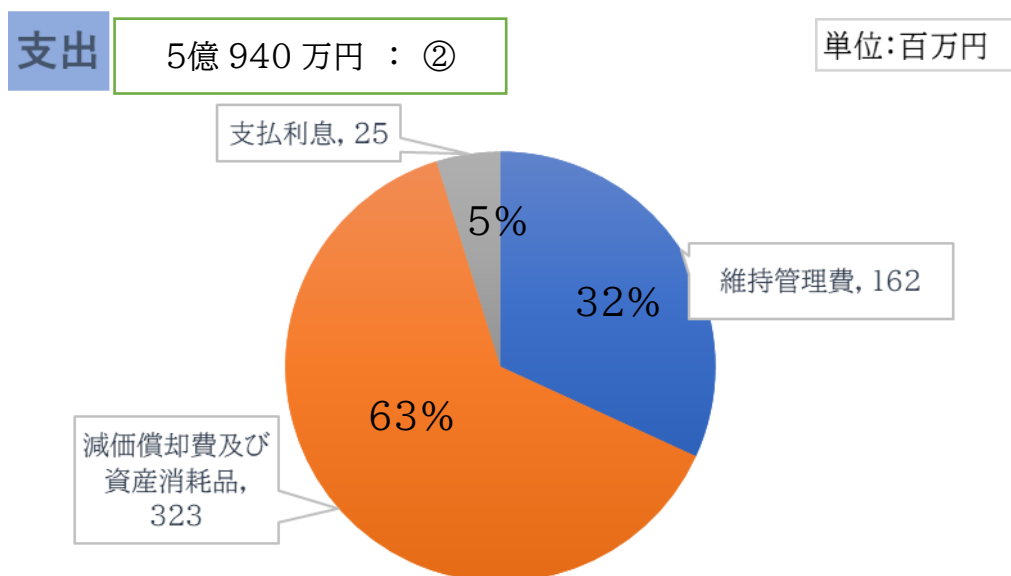
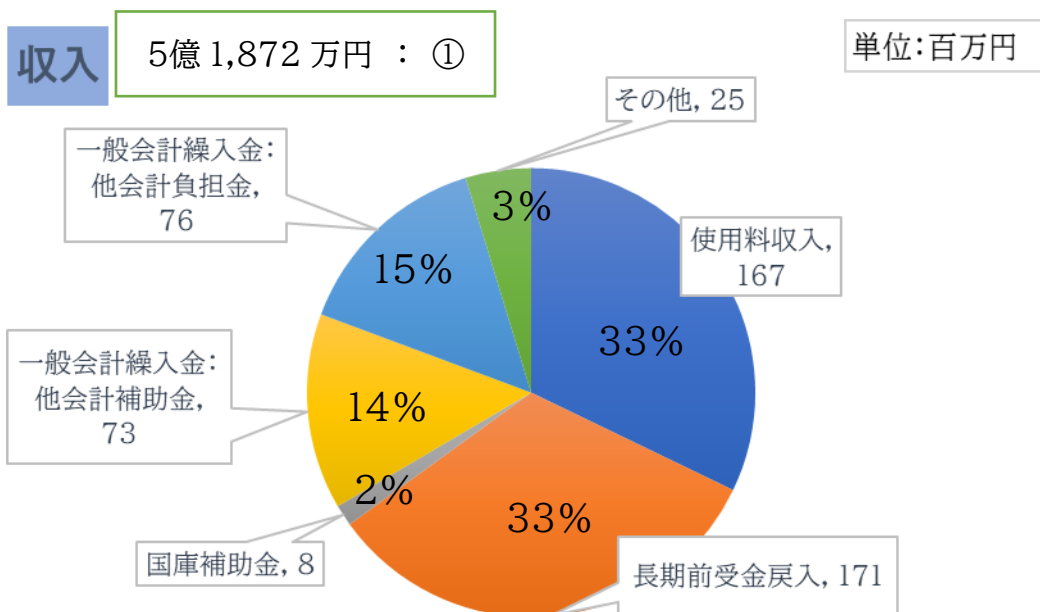


さっそく令和6年度の松伏町下水道事業を見てみよう！

3 収入・支出に関する事項

(1) 収益的収支（税抜き）

下水道事業を運営するために必要な経費と財源



① — ② = 931 万円(当年度純利益)

長期前受金戻入：固定資産取得のために交付された補助金等を減価償却見合い分収益化しています。

減 価 償 却 費：固定資産の取得価格を耐用年数で期間配分した費用です。

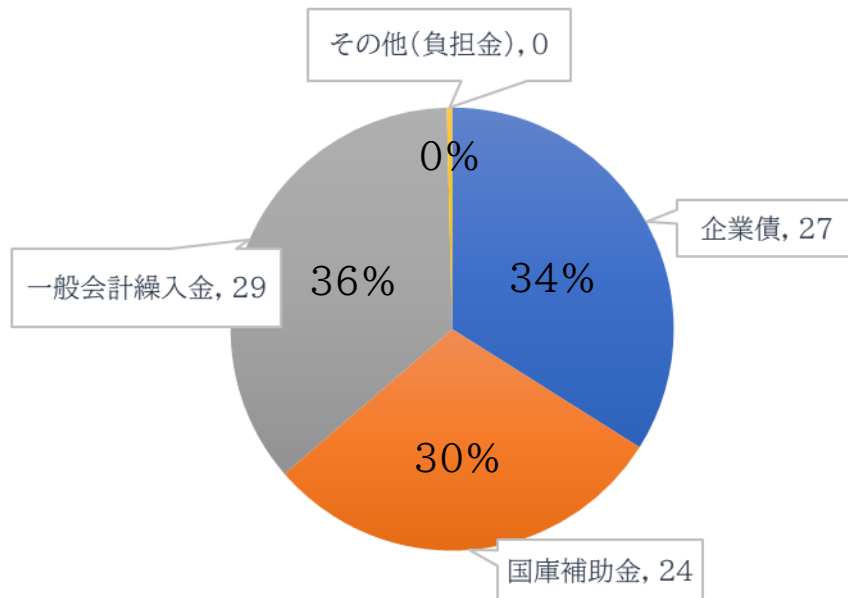
(2) 資本的収支（税込み）

下水道施設をつくるために必要な経費と財源

収入

7,947 万円 : ①

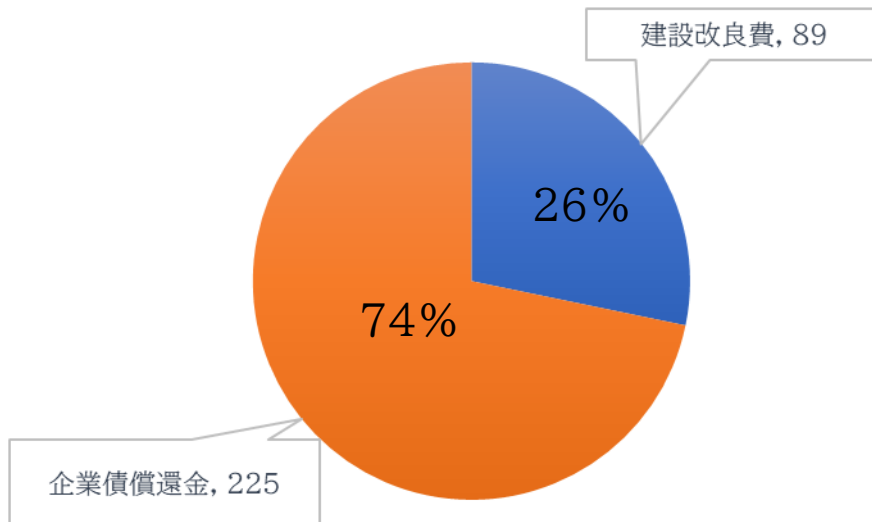
単位:百万円



支出

3 億 1,408 万円 : ②

単位:百万円



① — ② = 2 億 3,541 万円(不足する額)

※翌年度に繰り越される支出の財源に充当する額 80 万 4 千円を除く

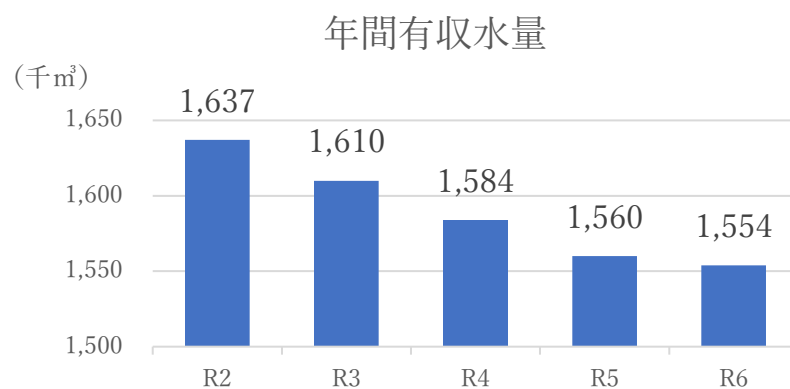
不足する額：資本的収支における財源不足額は、減価償却費など内部に蓄えられている自己資金で補てんしています。

(3) 公共下水道使用料について



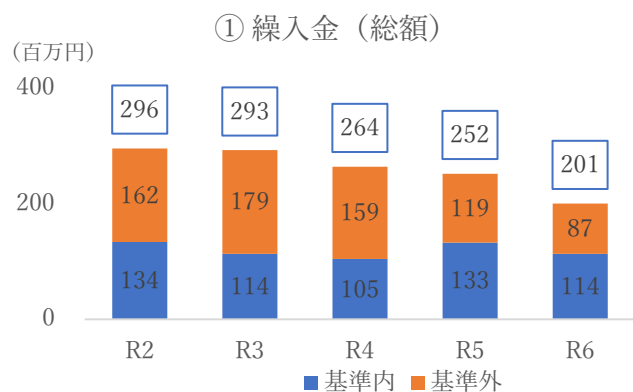
使用料収入は、約300万円の増収となりました。

(4) 公共下水道年間有収水量について

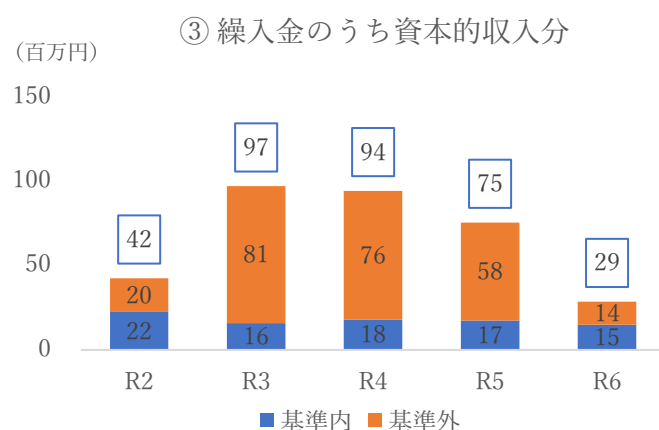
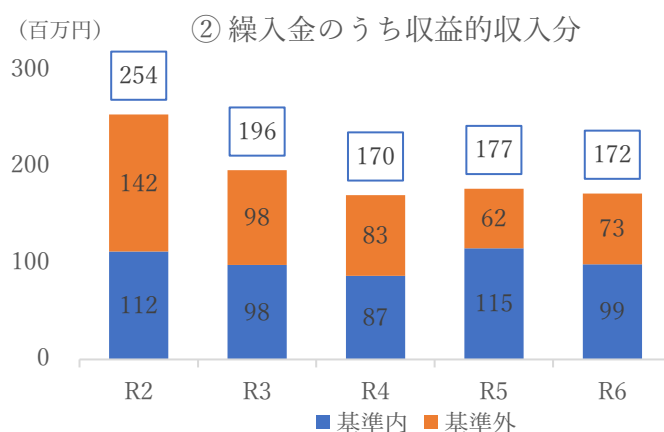


使用料の対象となる有収水量も約6千 m^3 減となりました。これは、処理区域内人口や水洗化人口が減少傾向にあることや、節水機器の普及などにより減少したものと思われます。

(5) 一般会計繰入金



①繰入金は、令和5年度と比較して総額で約5,200万円の減となりました。



②収益的収入については、約500万円の減、③資本的収入については、4,600万円の減となりました。繰入金の減少は企業債元利償還金の減に起因するところがあります。今後も経営合理化の取組を進め、繰入金の減少に努めます。

基準内繰入金とは

毎年度、総務省から示される繰出基準に基づき、一般会計が負担・補助等する必要な経費として、財政措置（交付税措置）が認められる繰入金です。公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない、あるいは客観的に充てることが困難な経費に充当します。主に、雨水処理に要する経費、流域下水道の建設に要する経費、分流式下水道等に要する経費、高度処理に要する経費などです。

基準外繰入金とは

公営企業会計の財源不足を補填するための繰出基準以外の繰入金をいいます。

基準上、必要以上の繰入金とみなされ、財源措置がないため、運用に当たってはより慎重であることが必要です。

4 「減価償却費」と「長期前受金戻入」って？

○「減価償却費」ってなあに？

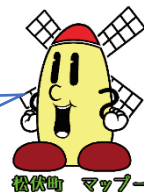


減価償却費とは、時間がたつことにより建物や設備などの資産価値が減少した分の費用を計上するものだよ。

わかりやすくいうと、新車を100万円で買って、5年後に売るときには、買った値段よりも価値が落ちた分を差し引いた値段になるよね。

こういった資産の現在の価値を正確に把握するためにも、価値が減少した分を費用として計上する必要があるよ。この手続きを「減価償却」と呼び、その手続きによって計上される費用を「減価償却費」というんだよ。

例えば、100万円で購入した車が1年後の価値が90万円になった場合、その1年間の減価償却費は価値が減少した10万円になるってことだね。

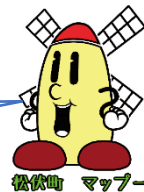


○「長期前受金戻入」ってなあに？



長期前受金戻入とは、固定資産の取得に伴う財源として受けた国庫補助金や一般会計からの負担金等について、「長期前受金」として負債に計上したうえで、毎年度、減価償却見合い分を収益化する現金を伴わない収入だよ。

なんか、言葉で聞いてもよくわからないなあ。

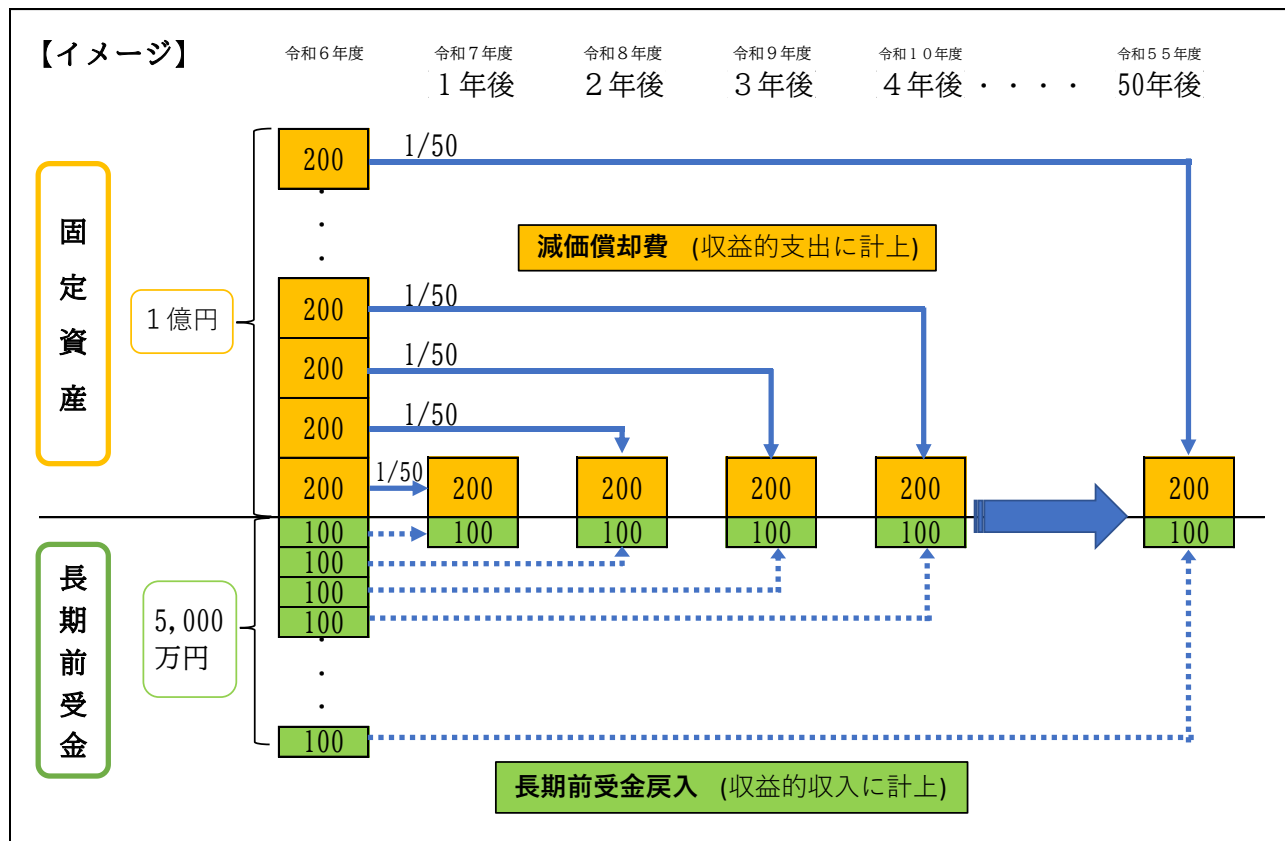


そうだね。

それでは、具体的な例をあげるから、イメージしてみてね。

「減価償却費」と「長期前受金戻入」のイメージ！

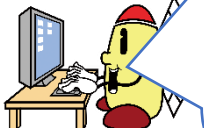
令和6年度に国庫補助金5,000万円、自己資金5,000万円を財源に50年間使用できる施設（1億円）を建設した時の「減価償却費」及び「長期前受金戻入」のイメージ



この施設は50年間使えるから、毎年50分の1ずつこの施設の価値が減少していくから、その価値の減少分である減価償却費が毎年200万円発生し費用計上することになるよね。

一方、この施設の取得には国庫補助金5,000万円もらっているから、この国庫補助金も施設の減価償却費に対応して、毎年50分の1の100万円ずつ収益が発生し収益化することになるんだ。

この経費処理に伴って発生する収益を「長期前受金戻入」というんだよ。



5 「補てん財源」について



その前に、企業会計予算の編成は、前にも説明したように「収益的収支」と「資本的収支」の2本立てとなっているよ。

収益的収支（現在のために使うお金）

公営企業の一事業年度の経済活動に発生した全ての収入とそれに対応する全ての支出

公営企業のみなさんが使った汚水を下水道処理施設で処理するのは、今、生活している人々のためにすることです。そう考えると、維持管理費や1年間施設を使った事による資産価値の減少分である減価償却費、それから下水道処理の対価である使用料収入などは現在のために使うお金＝収益的収支というイメージです。

資本的収支（将来のために使うお金）

公営企業の将来の経済活動に備えて行う建設改良費及び建設改良に係る企業債償還金などの支出、並びにその財源となる収入

この将来のために使うお金とは、例えば下水道管の布設や処理場施設の建設のことです。一度整備された施設は、その後何十年と使用されることから、これらの整備費用やその財源となるために借りた企業債収入やその償還金、国からの補助金が将来のために使うお金＝資本的収支というイメージです。

○「補てん財源」ってなあに？



補填財源とは、資本的収支予算において、収入額が支出額に対して不足することになった場合、その不足分を補う財源のことだよ。

予算でお金が足りないってどういうこと？





公営企業の予算制度は、収益的収支と資本的収支の2本立てということは、先ほど説明したね。そのうち、資本的収支予算は、建設改良費や企業債の償還が主な支出であり、支出が収入を上回ることがよくあるよ。

しかし、実際に予算を執行するときに資金が不足しないように予算を策定する段階にその不足額について、資金的裏付けがあることを説明する必要があるんだ。

この財源は、収益的収支予算のうち、現金の支出を伴っていない減価償却費や固定資産償却費などの支出によって内部に残る資金（内部留保資金）や純利益を原資としている減債積立金や建設改良積立金など、資本的支出に充当するための積立金などが補てん財源になるよ。

6 下水道事業の経営成績は？

企業が1年間にどれだけ利益を上げたか明らかにするものとして「損益計算書」があります。これを令和6年度の下水道事業会計決算に当てはめると、松伏町下水道事業会計における令和6年度の経営成績を表すものになります

(1) 損益計算書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(消費税抜き)

科 目	令和6年度	令和5年度(参考)
① 営業収益	1億8,980万円	1億9,628万円
下水道使用料	1億6,678万円	1億6,297万円
一般会計負担金 (雨水処理負担金：基準内)	2,279万円	3,305万円
その他営業収益	22万円	25万円
② 営業費用	4億8,377万円	4億4,395万円
維持管理費	1億6,114万円	1億3,056万円
減価償却費及び資産減耗費	3億2,264万円	3億1,338万円
③ 営業損益 (+ の場合は営業利益) ①－②	△2億9,398万円	△2億4,767万円
④ 営業外収益	3億2,751万円	3億869万円
一般会計負担金 (雨水処理負担金以外：基準内)	7,578万円	8,212万円
一般会計補助金 (基準外)	7,316万円	6,148万円
国庫補助金	800万円	
長期前受金戻入	1億7,047万円	1億5,978万円
その他営業外収益	9万円	531万円
⑤ 営業外費用	2,563万円	3,180万円
支払利息	2,452万円	2,903万円
雑支出	111万円	277万円
⑥ 経常利益 (－ の場合は経常損失) ③＋④－⑤	790万円	2,922万円
⑦ 特別利益	142万円	0
⑧ 特別損失	0	0
⑨ 当年度純利益 ⑥＋⑦－⑧	931万円	2,922万円
⑩ 前年度繰越利益剰余金	0	0
⑪ その他未処分利益剰余金変動額	3,507万円	1,238万円
⑫ 当年度未処分利益剰余金 ⑨＋⑩＋⑪	4,439万円	4,159万円

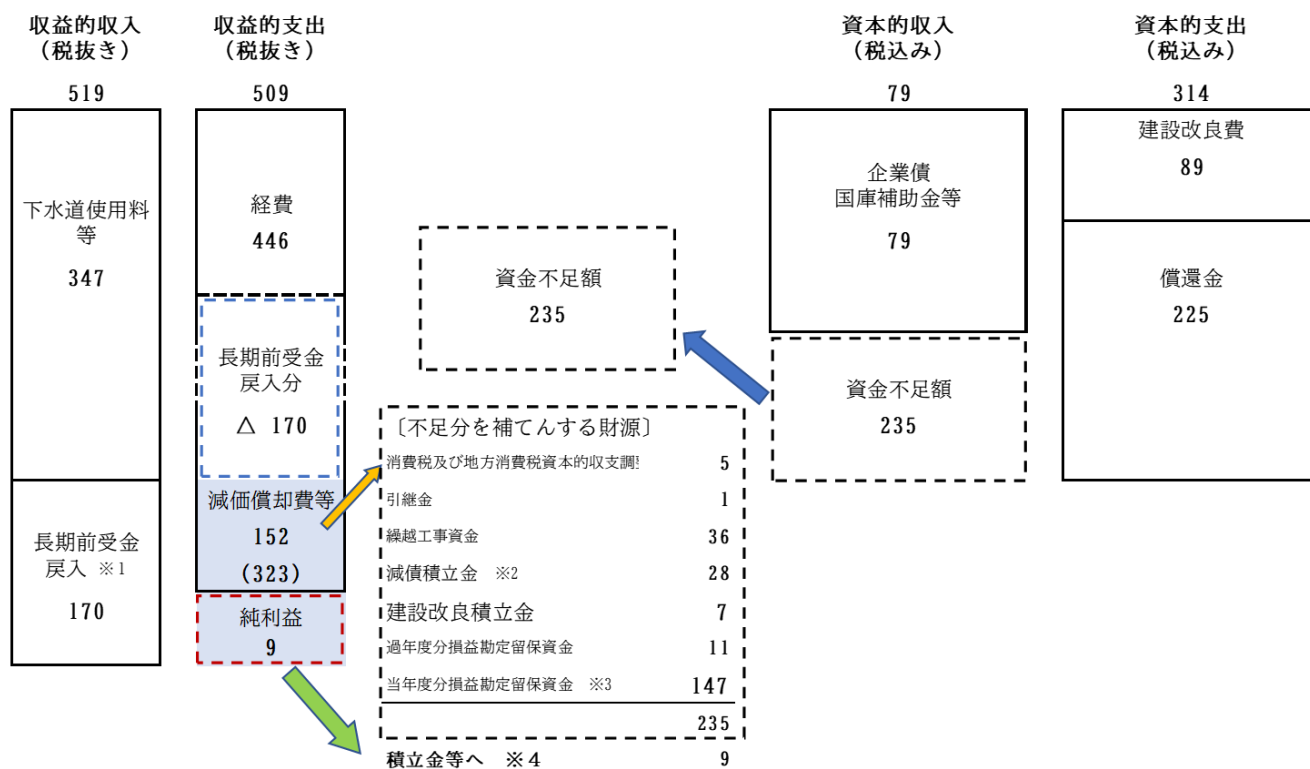


令和6年度の下水道事業は931万円の黒字だったんだね。

7 利益はどう使われているの？

○企業経営で得た黒字（利益）が、どのように使われているか？

(単位：百万円)



(※1) 長期前受金戻入は現金収入のない収益のため、減価償却費から控除して補てん財源を算出します。

(※2) 減債積立金は毎年度事業で生じた利益を、条例又は議決でもって翌年度の企業債償還の財源として積立てたもの。

(※3) 令和6年度は、減価償却費等152百万のうち147百万円を補てん財源とした。

(※4) 松伏町下水道事業の余剰金の処分等に関する条例より、減債積立金、利益積立金、建設改良積立金へ積立てる。



企業経営（収益的収支）で得た利益は、借入金（企業債）の返済の財源や将来への建設投資（資本的収支）の資金不足を補てんする財源として使われているよ。

8 借金はどれくらいあるの？



ここでは、「企業債の残高＝ローンの残高」、つまり、借金がいくら残っているか見てみよう！

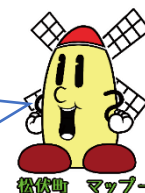


近年は、借入額が償還額の範囲内に収まっており、企業債残高は着実に減少しています。

令和5年度末 残高 16億5,660万円①
 令和6年度末 借入 2,700万円
 令和6年度末 償還額 2億2,530万円
 令和6年度末 残高 14億5,820万円②

$$\text{②} - \text{①} = \Delta 1 \text{億} 9,840 \text{万円}$$

借金の残高は、年々減少しているね。5年前の令和2年度末と比べて約7億9,800万円も減少しているよ。



9 業務量について

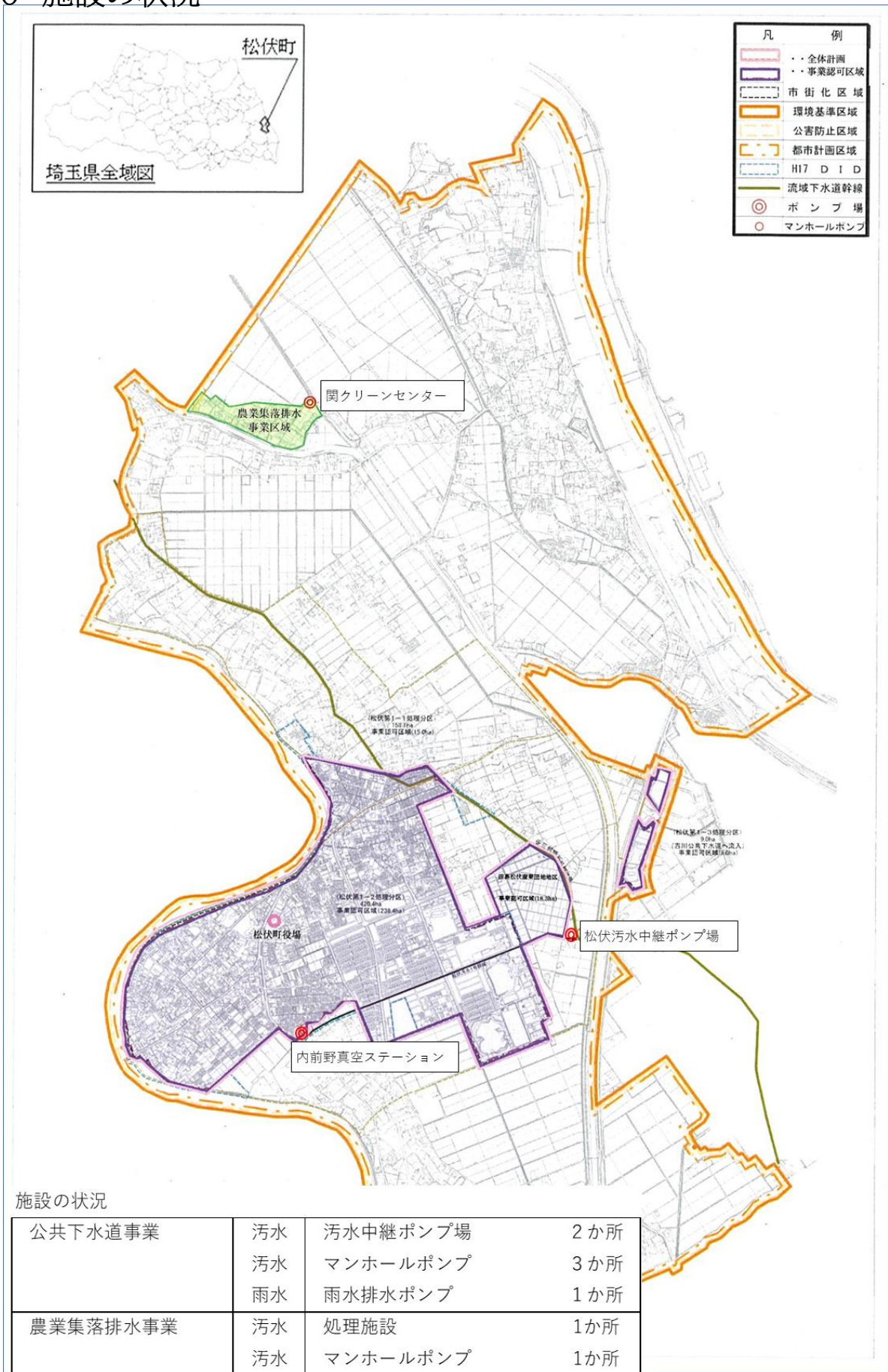
公共下水道事業

項目		令和6年度	令和5年度	増減
行政区域内人口	A	27,723 人	28,068 人	△ 345 人
処理区域内人口	B	19,359 人	19,566 人	△ 207 人
水洗化人口	C	16,563 人	16,500 人	63 人
普及率	(B/A)	69.8 %	69.7 %	0.1 ㊦
水洗化率	(C/B)	85.6 %	84.3 %	1.3 ㊦

農業集落排水事業

項目		令和6年度	令和5年度	増減
処理区域内人口	D	111 人	121 人	△ 10 人
水洗化人口	E	111 人	121 人	△ 10 人
水洗化率	(E/D)	100.0 %	100.0 %	0.0 ㊦

10 施設の状況



1 1 下水道事業の財産は？

事業年度末における当該企業が保有する財産（資産、負債及び資本）の状況を表す財務諸表として「貸借対照表」があります。貸借対照表は、「何にお金を投資したか(資産)」、「どうやってお金を集めたのか(負債)(資本)」を表しています。

貸借対照表 (令和7年3月31日まで)

科目	令和6年度	(参考) 令和5年度	科目	令和6年度	(参考) 令和5年度
(資産の部)			(負債の部)		
固定資産 (①)	73億7,514万円	74億689万円	固定負債 (③)	12億4,508万円	14億384万円
有形固定資産	68億8,077万円	68億9,685万円	企業債	12億4,508万円	14億384万円
土地	4,516万円	2,099万円	流動負債 (④)	3億2,787万円	3億1,336万円
建物	1億2,580万円	1億1,625万円	企業債	2億1,315万円	2億2,107万円
構築物	64億9,512万円	66億853万円	未払金	1億1,088万円	8,880万円
機械及び装置	1億8,700万円	1億3,217万円	引当金	341万円	307万円
車両運搬機	5万円	5万円	その他流動負債	43万円	43万円
工具器具及び備品	2万円	2万円	繰延収益 (⑤)	36億3,447万円	36億3,048万円
建設仮勘定	2,663万円	1,885万円	長期前受金	44億4,087万円	42億6,754万円
無形固定資産	4億9,437万円	5億1,005万円	収益化累計額	△8億640万円	△6億3,706万円
施設利用権	4億9,437万円	5億1,005万円	負債合計 (③+④+⑤)	52億742万円	53億4,768万円
流動資産 (②)	1億3409万円	1億7,904万円	(資本の部)		
現金預金	9,485万円	1億4,847万円	資本金 (⑥)	22億2,006万円	21億7,762万円
未収金	3,935万円	3,070万円	剰余金 (⑦)	8,175万円	6,064万円
貸倒引当金	△11万円	△13万円	資本剰余金	3,736万円	1,319万円
			利益剰余金	4,439万円	4,745万円
資産合計 (①+②)	75億923万円	75億8,594万円	資本金合計 (⑥+⑦)	23億181万円	22億3,825万円
			負債資本合計 (③+④+⑤+⑥+⑦)	75億923万円	75億8,594万円
「お金の使い道」 集めたお金が、「どのような状態」で 「どれだけ」あるかがわかります。			「お金の集め方」 企業が資産を獲得するためのお金を 「どうやって」集めたかがわかります。		



貸借対照表は、「資産」「負債」「資本」の3つの内容を示しているよ。「資産-負債=資本」という関係性から「資産=負債+資本」という表が作られるよ。

1 2 キャッシュフロー計算書とは？

キャッシュフロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。

キャッシュ・フロー計算書

科 目	令和6年度	(参考) 令和5年度
① 業務活動によるキャッシュ・フロー		
当年度純資金	931万円	2,922万円
減価償却費	3億2,133万円	3億1,338万円
資産減耗費	130万円	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2万円	△1万円
賞与引当金の増減額（△は減少）	36万円	26万円
法定福利費引当金の増加額	△1万円	4万円
長期前受金戻入額	△1億7,047万円	△1億5,978万円
未収金の増減額（△は増加）	△865万円	786万円
未払金の増減額（△は減少）	578万円	1,568万円
その他流動負債の増減額（△は減少）	0円	△533万円
小計	1億5,895万円	2億132万円
② 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,265万円	△4,581万円
無形固定資産の取得による支出	△804万円	△1,143万円
国庫補助金による収入	2,145万円	1,745万円
受益者負担金等による収入	28万円	251万円
一般会計等からの繰入金による収入	1,853万円	3,657万円
小計	△4,042万円	△70万円
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー		
建設改良費等の企業債による収入	2,700万円	5,610万円
建設改良費等の企業債の償還による支出	△2億2,533万円	△2億3,773万円
一般会計出資金による収入	900万円	3,800万円
小計	△1億8,933万円	△1億4,363万円
資金増減額 ①+②+③	△7,080万円	5,699万円
資金期首残高	1億6,565万円	9,149万円
資金期末残高（資金増減額+資金期首残高）	9,485万円	1億4,847万円

①下水道事業本来の営業活動で資金を稼げているかを表しています。

②下水道施設の更新等、設備投資にどれだけ資金を使ったかを表しています。

③借入れと返済のどちらを多くしたかを表しています。

1 3 下水道事業経営指標（参考）

財政状態を分析するため、いくつかの指標を使って経営の健全性や安全性などを見てみました。

項目	松伏町		説明
	R 6 年度	R 5 年度 (参考)	
経常収支比率:%	101.6	106.1	料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標で高いほどよい。
経費回収率:%	69.90	69.63	使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標です。
水洗化率:%	85.6	85.3	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。
有形固定資産 減価償却率:%	21.2	12.2	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標です。
管渠老朽化率:%	0	0	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標です。

【経営指標】

視 点		望ましい方向
経営の健全性・効率性	経常収支比率（％）	↑
	経費回収率（％）	↑
	水洗化率（％）	↑
老朽化の状況	有形固定資産減価償却率（％）	↓
	管きょ老朽化率（％）	↓